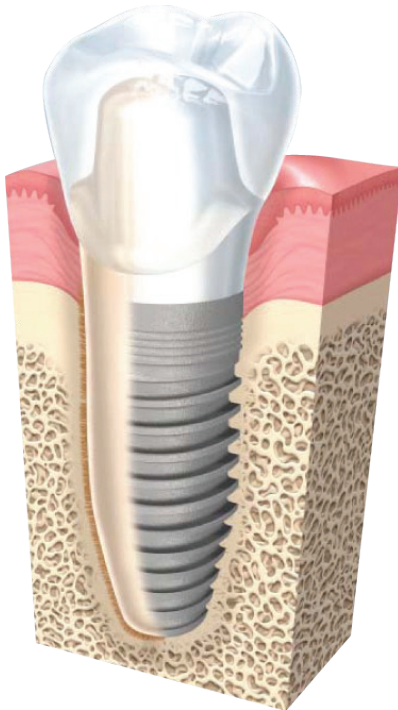




ICHIDA DENTAL CLINIC

市田歯科クリニック

インプラント治療について



多くの方が望まれているデンタルインプラントは、21世紀の最先端歯科医療の一つで、多くの患者様に福音を与えています。しかし、インプラント療法には、長所ばかりではなく手術に伴う危険性やいくつかの短所もあります。

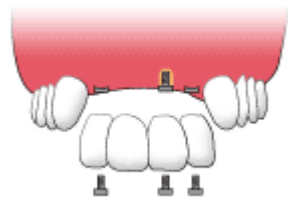
当院は治療を始める前に、患者さんのお口の健康状態を十分に診査し、患者様と共に、最良の治療法を考えたいと思っております。

この小冊子は、歯科インプラントについてのご理解を深めるためのものです。また、治療内容について、患者さんと歯科医師との相互理解の一助となる資料に供するものです。もし、疑問点がございましたら、納得のいくまでご質問下さりますようお願い申し上げます。

1. インプラント治療とは

歯を抜いた際にその欠損部分を補うための治療法の一つです。

純チタンでできた人工歯根（インプラント体）を歯の欠損部の骨に埋め、人工歯根の上部に歯を作っていきます。もう一度ご自分の歯の根を作るようなものですから、咬み心地は、ほぼご自分の歯と同じです。



2. インプラント以外の治療法

歯の欠損部の治療法は従来、固定性（ブリッジ）と可撤性（入れ歯）の2つがありました。これらの方法は、比較的簡便で利点も多い方法ではありますが問題もあります。

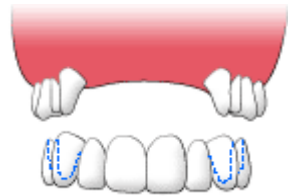
入れ歯(義歯)の問題点

- ・ 違和感がある
- ・ 食べ物が食べ辛い
- ・ 不安定である(浮き上がり、脱落)
- ・ 舌感が悪い、喋りにくい
- ・ “入れ歯＝老人”というイメージがある



ブリッジの問題点

- ・ 両側の歯を削る必要がある
- ・ 清掃性が悪くなり、支えている歯が悪くなりやすい(歯周病・虫歯の誘発)
- ・ 土台となる歯に負担がかかる(失った歯の数が多くなれば負担も大きくなる)



3. インプラント治療の問題点・危険性

①インプラント体を埋める顎の骨の周りには、歯根・神経・血管・鼻腔・上顎洞などがあり、手術の際にこれらを傷つけ、出血・神経麻痺・感染などが起こる可能性があります。

→当院では事故を未然に防ぐために手術前にレントゲンや CT を撮り、詳細な診査を行い、問題が生じることを最小限におさえ、無理な手術は避けます。

手術前に撮ったレントゲン写真、CT 像は患者様に開示をして、インプラント体を埋める顎の骨の位置の確認と骨質を提示します。

* CTは当医院で撮影できます。

②インプラント自身の劣化は生じないと言われています。しかし、それを支える顎の骨や歯ぐきは細菌、温度変化、咬合圧(噛む力)などの影響を受けて絶えず変化します。したがって、手術が成功しても、その後いろいろな要因が重なって、インプラントが動揺し、抜けるという可能性もあります。

1. 患者様自身にインプラントが合わない

骨質が柔らかすぎる、重度の歯槽膿漏、全身疾患があるなど

2. インプラント体への負担過重

3. インプラント周囲の清掃不良 (インプラント周囲炎)

→当院では術後にも患者様に定期的に来院していただき、メンテナンスを行っております。インプラントを含めた口腔内全体の清掃状態・かみ合わせのチェック、クリーニング、ブラッシング指導を通して、患者様と一緒にインプラントを長く快適にご使用いただけますようにお手伝いさせていただきます。しかし、お手入れの主役は患者様ご自身です。日頃からお口の中をきれいに保つように努力していただくことが最も大切です。

現在インプラントの成功率は20年累積残存データとして、上顎90%以上、下顎95%以上と言われています(上顎の骨質が下顎より弱い為)。上記の問題を含めて色々な問題が考えられますが、近年インプラント治療の成功率は飛躍的に伸びているのが現状です。

③歯を無くした患者様の多様なご要望に応えられますが、お口の中の状態は誰一人として同様ではありません。特に以下の問題がある場合は、それが改善されるまでは手術を行うことは出来ません。

- ・ 全身的な病気がある場合

重度の糖尿病・心臓疾患・血液疾患・精神疾患・薬物アルコール中毒

- ・ 局所的な問題がある場合

重度の歯周病がコントロールできていない

あごの骨の骨質が小さい(骨の異常な吸収)、悪い場合

インプラント体埋入と骨形態の不一致

上部構造の設置スペースが狭小の場合

噛みぐせの強い場合

喫煙量の多い方(喫煙はインプラント治療の成功率を低下させます)

4. 費用と時間

費用

インプラント治療にかかる費用はインプラント体の数、上部構造(歯の部分)の材料や構造によって違ってきます。また、治療途中で治療方針を変更しなくてはならない場合もあります。したがって、手術前に見積もられた額とは異なる請求金額となる可能性もあります。その際は、担当医から説明があります。

時間

手術時間はインプラント体の数や、手術の難易度によって異なり個人差がありますが、通常、手術は1本 20 分～40 分ほどかかります。術中は局所麻酔を使用するため痛みを感じることはほとんどありません。

術後は痛みや腫れが出ます。術後3～4日がピークと言われていますが、一週間くらいでほとんどの方が落ち着きます。約一週間後に縫った糸を抜きます。

その後、骨とインプラント体が結合するまで(通常下顎2～3ヶ月、上顎3～4ヶ月)まで待って、仮歯を作る準備など、次のステップに移ります。

このようにインプラント治療が始まってから終わるまでには、約半年程度かかります。また、手術後の治癒期間は数ヶ月と非常に時間がかかりますので義歯を一時的に使用していただく場合もあります。

5. 術後のメンテナンス

治療後のメンテナンス(清掃、咬合調整)は必須ですので、定期的に来院していただけますよう、お願い申し上げます。

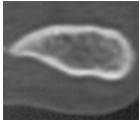
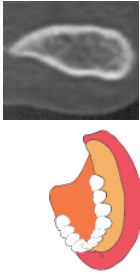
6. 治療の記録について

当院では治療経過に伴うお口の健康状態をカルテ(治療記録)、写真、模型、レントゲン写真などの資料を保存します。

ただし、個人の守秘義務は怠りの無いよう注意し、患者さんの了解を得ることとします。

以上、インプラント治療を受けられる患者さんには、歯科医師にまかせっきりにするのではなく、十分に説明を受け、説明を理解した上で治療を開始されることをお勧めいたします。

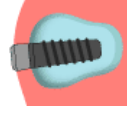
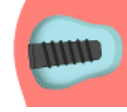
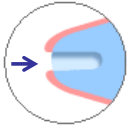
インプラント治療の流れ



X線断層撮影像

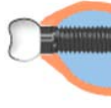
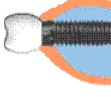
診査

- ・お口の中の型
 - ・レントゲン写真
- などを参考に、インプラント治療が可能かどうかを診査します。
(骨の状態によって、詳細なレントゲン写真を別途撮っていただくこともあります。)



1次手術

- ①麻酔をしてから、骨を削り、インプラントを入れる穴を準備します。
- ②インプラントを埋め込み、キャップを取り付けて、粘膜を閉じます。
- ③インプラントと骨がしっかりと結合するまで、2ヶ月から~4ヶ月くらい待ちます。(* 骨の状態により、期間が異なります。)



仮歯装着 完成

- ①仮歯を作り、実際に使用していただきながら形態や装着感などを確認します。
- ②最終的な人工歯の型と、歯並びや色をチェックして装着、インプラント治療が完成します。

*** 治療が終わった後も、定期検査をしながら、きちんと管理してゆきましょう！**

当院は、40年以上の実績のあるノーベル・バイオケア社
インプラントを使用しています。

<http://www.nobelbiocare.co.jp>